

# まちのわだい

Town Topics

## 市内中学生が 全国大会で大活躍

全国大会出場の中学生在が市役所を訪問

8月に開催された中学校総合体育大会の全国大会に市内から3名の中学生が出場し、それぞれの種目で全力を尽くしました。千代川中学校3年の植竹亮太さんは、水泳400m自由形で第2位、200m自由形で第3位と見事に全国入賞を果たしました。

また、植竹さんは、9月14日・15日に、東京辰巳国際水泳場で開催される第68回国民体育大会の茨城県代表として、少年男子B(高1・中3)400m自由型、400m自由形リレー、400mメドレーリレーの3種目に出場します。国体でも自己記録更新を目指したいとする植竹さんは「茨城県の代表として頑張っていきたい」と意気込みを語りました。



銀と銅の二つのメダルを胸に、全国入賞を笑顔で稲葉市長に報告した植竹さん

全国大会出場を稲葉市長に報告した陸上の猪狩さん(左)と柔道の塚越さん(右)

■全国大会出場者(敬称略)

種目	氏名(学校名)
柔道90kg超級	塚越康太(下妻中・3年)
陸上400m	猪狩祐太(下妻中・3年)
水泳200m自由形	植竹亮太(千代川中・3年) ※第3位・全国入賞
水泳400m自由形	植竹亮太(千代川中・3年) ※第2位・全国入賞



水打ちを楽しむ子どもたち

騰波ノ江駅から打ち水でクールダウン  
常総線開通100周年イベント「打ち水大作戦」

8月17日、関東鉄道常総線の騰波ノ江駅で、常総線開業100周年の記念事業の一環として、関鉄レールファンクラブによる打ち水やキャンドルナイトが開催され、多くの親子連れで賑わいました。

「騰波ノ江駅からクールダウン」を合言葉に、上りホームで行われた「打ち水大作戦」には約40人の親子が参加し、強い日差しの中で幼児や小学生がバケツからひしゃくで水をすくい、慣れない手つきながらも「駅を使う人が気持ちよく使えるように」と打ち水を行いました。

初めて打ち水を体験した高島葵さん(大宝小・3年)は「水を広くまくのが難しかった。水をまくと涼しくなることがわかったので、家でもやってみよう」と話してくれました。



顕微鏡で微生物を観察し、下水道の知識を深める子どもたち

親子で世界に誇る下水道技術を見学  
第8回水の探検バスツアー

7月30日、市上下水道課が主催する「水の探検バスツアー」に市内の小学生親子61名が参加し、東京ビッグサイトで開催された「下水道展'13東京」で世界に誇る下水道技術を見学しました。会場内の「スイスイ下水道研究所ゾーン」では、下水道に関する実験を体験したり、パネル展示で水の循環に下水道がどのような役割を果たしているかなどを親子で楽しく学びました。

ツアー参加者の塚越聡真くん(下妻小・4年)は「はじめて顕微鏡を使って水の汚れを食べてくれる微生物を観察することができて、うれしかった」と話し、限りある水の大切さを知り、下水道の役割についての知識を深める体験となりました。

## 世代を越えて楽しんだ交流

世代間交流事業

7月25日、千代川地区老人会の会員ときぬ保育園の園児たちが世代を超えて交流を深める「世代間交流事業」が行われ、老人会から30名と4歳児から5歳児の39名が楽しみ会に参加しました。

お楽しみ会では、園児たちがおじいちゃん、おばあちゃんの前で元気に歌ったり、こよりのヨーヨー作りではお互いに作り方を教え合いながら作業するなど、会場には笑顔と会話が広がり、楽しく交流を深めました。

参加した原老人会の塚越絹江さん(80歳)からは、「子ども達と触れ合えることは本当に楽しい。こういう機会があったら参加するようにしている。このような交流の機会を設けてもらえると、楽しみが増える」と話が聞けました。



楽しく会話しながらのヨーヨーづくり

## 陶芸ランタンで灯りの街をつくる

栗山商店街で陶芸ランタンワークショップ

8月24日、下妻オリジナルの陶芸ランタンで灯りの街をつくろうと、栗山商店街にある空き店舗を会場に「陶芸ランタンワークショップ」が開催されました。

市内の小学生親子や陶芸クラブの会員など約60名の参加者は、笠間焼陶芸家の出町光識さんの指導のもと、楽しみながら約120個のユニークな陶芸ランタンをつくり上げました。

参加した小学4年の女子児童は「陶芸ランタンづくりは初めてだったけど、3個もつくって楽しかった。また次の色塗りも参加したい」と笑顔で話していました。

今回制作した陶芸ランタンは、焼き上げてから10月13日に色塗りを施し、11月10日に予定されている下妻駅前のイルミネーション点灯式に併せて、栗山商店街の店先に飾られます。



ランタンづくりに集中する参加者たち

## みずみずしくて美味しいと大好評の下妻甘熟梨

いいな下ツアー! 梨狩り体験



美味しい梨の見分け方の説明に真剣なツアー参加者たち

8月24日、今年7月に千葉県浦安市のショッピングプラザ新浦安にオープンした下妻市アンテナショップ「下妻ファーム」の常客を対象に企画した「いいな下ツアー! 梨狩り体験」に116名の応募の中から当選した浦安市民36名が下妻市を訪れ、下妻甘熟梨の収穫を体験しました。

ツアー参加者は、下妻甘熟梨を生産する農家の方から美味しい梨の見分け方などの説明を受けた後、梨畑に入り、梨の色や形を真剣に見分けながら収穫を楽しんでいました。

収穫したの下妻完熟梨を試食した参加者は「今年初めて梨を食べたが、みずみずしくて美味しい」「初めて梨狩りを体験した。こんなに美味しい梨を食べたことがない。何個も食べられそう」と笑顔で話していました。



砂沼球場で練習に励む城西高校野球部の選手たち

## 下妻市が学生の夏合宿として注目される城西高校野球部が下妻で夏合宿

7月30日から8月3日までの4日間、東京都豊島区から城西大学附属城西高等学校の野球部54名が夏合宿で下妻市を訪れ、ピアスパークしもつまに滞在しながら、砂沼球場で練習に励み、8月3日には地元下妻一高の野球部と交流戦を行いました。

夏合宿の場所を選定した監督の高野勝さんは「夏合宿の候補地として他に長野県などがあったが、宿と練習場が近いこと、昼食の手配や雨天時の体育館利用など、いろいろと便宜を図ってくれる好条件から下妻を選びました。宿泊しているピアスパークしもつまでは温泉がおいしい、食事も美味しい」。主将の松岡裕太さん(2年)は「砂沼球場はナイター設備などが充実している。自然に囲まれた環境で練習ができて、とても気持ち良かった」と話してくれました。